

西東京市「対話による美術鑑賞」事業に関するアンケート集計結果(上向台小④)

実施日:7月11日(月)、15日(金)

回答者:7人(校長、副校長、図工専科教員1人、担任3人)

1 本日の授業で何が良かった?(複数回答可)

①アートカードを使った鑑賞	5	83%
②A4サイズのシートを使った鑑賞	2	33%
③プロジェクターを使った鑑賞	5	83%
④その他	1	17%

【理由】

- ・①一人一枚であることが、作品との対話となる。②目線を上に挙げ、離れて見ることで①と違う対話となる。
- ・③全員で意見や考えを共有できると思いました。
- ・①たくさんの作品を鑑賞することができるとともに、自分の好きな作品を見つけたり、作品について語る楽しさをグループ活動を通して体験できる。②大きく映された作品を見ることで、より作品の世界に入り込んで鑑賞することができるよさがある。
- ・①～③子どもが興味をもって取り組んでいた。大変楽しんでいた。
- ・①③子供が思ったこと、感じたことをたくさん言っていてよかったから。友達の意見を聞きながら、新たな考えを持つことができていた。

2 みーるさんの子どもたちへの対応は?

①とても良かった	6	100%
②普通	0	0%
③あまり良くなかった	0	0%
④その他	0	0%

【理由】

- ・たぶん、皆さん自身が楽しんでいる。子供が好き。そして、本校の子供の反応のよさと比例したと考えます。
- ・やさしい口調が安心感を与えていました。
- ・子どもの意見を受け止めながら、グループ全体に共有させたり、子どもの気づきをより深めて新たな視点に気づかせるなどのサポートをしてくださった。子どもが主体となるような声かけがとてもよかったです。
- ・ていねい。
- ・「どこからそう思うの?」という声かけがとてもよかった。

3 教室での授業と併せて、美術館訪問も実施したい?

①思う	5	83%
②思わない	0	0%
③その他	1	17%

【理由】

- ・ぜひ。本物を見る必要がある。本来なら家庭教育でもあるが、学校がきっかけをつくと良い。
- ・でも、時間的に厳しいところはあります。

- ・本物の作品を鑑賞する機会を学校でつくってあげればと思う。
- ・思うが、時間的な面が気になる。

4 実施内容は全体的に満足？

①とても満足	5	83%
②やや満足	1	17%
③普通	0	0%
④やや不満足	0	0%
⑤その他	0	0%

【理由】

- ・対話とは、より多くの出会いの中で経験すべきこと。多くの方々に本校児童のために指導していただくことに感謝しています。
- ・少ししか見られず残念でした。
- ・1つのグループに1人以上のボランティアの方がついてくださるので、子どもたちがのびのびと、考えを深めることができていた。考えたり、深く見ることのおもしろさを味わい、今後の学習活動に効果も期待できる。
- ・子供たちが楽しそうに、「美術」にふれていたので。

5 学習指導要領の「鑑賞の重視」「言語活動の充実」に適している内容か？

①適している	6	100%
②おおむね適している	0	0%
③あまり適していない	0	0%
④その他	0	0%

【理由】

- ・皆様がそのことを考えてのプログラムであること。
- ・楽しみ方も学べていると感じました。
- ・作品を身近に感じ、鑑賞する楽しさを味わうことで図画工作科における学習の指導の効果を高めている。また、障害を通して造形に親しむ素地も育まれている。

6 「対話による美術鑑賞」事業の効果は？(複数回答可)

①美術鑑賞機会の充実	5	83%
②子どもたちの観察力・思考力・コミュニケーション力の向上	6	100%
③市民及び関係機関との連携・協働	2	33%
④その他	1	17%

【その他の理由】

- ・自分自身との対話を経験することで、子供たちのメタ認知力が伸びる。

7 「対話による美術鑑賞」事業の問題・課題は？(複数回答可)

①日程調整が難しい	4	67%
②子どもの評価が難しい	0	0%
③回数が少ない	1	17%

④効果がすぐに現れない(効果が分からない)	0	0%
⑤その他	1	17%

【その他の理由】

・全校での指導の実現

8 全校実施後は、毎年全校で実施すべき？

①思う	5	83%
②思わない	0	0%
③その他	1	17%

【理由】

- ・教育で大事なことは継続すること。「一発屋」的な活動は意味がない。学習内容の系統性と学習方法の連続性を重視すべきである。
- ・希望校のみだと、日程調整が楽になるかもしれないが、西東京市すべての小学生が体験すべきだから。
- ・ボランティアのみ一さんが来てくださるので、子供1人1人の意見がとても大事にされていて、充実した内容となっている。図工専科や担任だけでは、ここまでの内容は厳しい。

9 昨年度実施校に。実施後に、「対話による美術鑑賞」事業の効果は？(回答対象者1人)

①あった	1	100%
②なかった	0	0%
③その他	0	0%

【理由】

- ・鑑賞をやるよ、と言うと、楽しみにしている子どもが増えた。作品を味わう楽しさや、考えることを楽しむ子どもが増えた。

10 この事業の感想や意見は？

- ・いずれにせよ、個々の教育活動を全体的ビジョンで捉え、学校現場で実践を継続すべき。他のことに取り組むより、一つのことを深めるべき。学校での教育課程編成時に、あるかないか分からない状態では、関わりを持って努められている方々にも失礼と考える。
- ・図画工作専科としても、毎年、勉強させていただく機会となっています。本事業の取り組みを日頃の授業内でも生かさせていただいているので、西東京市の取り組みとして、継続していただきたいです。

11 市で取り組んでほしい文化芸術事業は？